

静岡県警察からのお知らせ！

～リスト型攻撃の新プログラム判明～

茨城県警察が海外への不正送金事案で中国人業者を摘発し、その際に押収したサーバ内からリスト型攻撃の新プログラムが発見されました。

攻撃者は、こうしたプログラムを使用して、攻撃対象のサービスを絞り込んだ効率的な攻撃をしかけていたものと見られています。

特徴

「リスト型攻撃」は、不正に入手したIDとパスワードのリストをインターネットのさまざまなサービスに自動的に打ち込んで接続を試みる手口ですが、ID、パスワードが無数にあるサービスのどれで使用されているかを割り出すのは、困難を要するものでした。

しかし、発見されたプログラムでは、大量のID、パスワードのリストからメールアドレスに接続できるものを探しだし、メールアドレスに不正アクセスして利用しているサービスを自動的に割り出し、効率的に不正アクセスを行うための機能を有していたとのこと。

対策

【パスワードの使い回しをしない】

一度、ID、パスワードが流出すると、様々なサイトで不正アクセスが行われてしまいます。

面倒でも、IDとパスワードを使い回さないようにしましょう。

メールアドレスと同じ文字をIDとして使用している場合には、特に注意が必要です。



参考サイト

(URL) 総務省

http://www.soumu.go.jp/main_content/000265404.pdf



サイバー犯罪被害防止講演実施中

静岡県警察では、警察官が企業等に赴いて企業を狙ったサイバー犯罪に対する対策等のサイバーセキュリティ講話などを無償で行っています。希望される場合には、下記の問合せ先まで連絡してください。



問合せ先

静岡県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課 サイバーセキュリティ対策係
TEL:(代表)054-271-0110 (内線)746-633